

平成 13 年 2 月 27 日

各 位

会 社 名 西日本旅客鉄道株式会社  
代表者名 代表取締役社長 南谷昌二郎  
(コード番号 9021 東大名福京)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

### 1. 平成 13 年 3 月期連結業績予想の修正 (平成 12 年 4 月 1 日 ~ 平成 13 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 12 年 12 月 20 日発表)	1,181,500	49,500	77,500
今 回 修 正 予 想 ( B )	1,181,500	49,500	31,000
増 減 額 ( B - A )	-	-	46,500
増 減 率 (%)	-	-	60.0%
前 期 実 績 (平成 12 年 3 月 期)	1,191,009	47,628	25,091

### 2. 平成 13 年 3 月期業績 (単独) 予想の修正 (平成 12 年 4 月 1 日 ~ 平成 13 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 12 年 12 月 20 日発表)	878,000	42,000	75,000
今 回 修 正 予 想 ( B )	878,000	42,000	28,500
増 減 額 ( B - A )	-	-	46,500
増 減 率 (%)	-	-	62.0%
前 期 実 績 (平成 12 年 3 月 期)	885,144	42,326	25,578

3. 上記修正の理由は以下のとおりであります。

当社は、平成12年12月20日に当社保有の日本テレコム株式会社株式の譲渡を発表するとともに、それに伴う業績予想の修正を発表いたしました。その段階では、株式の引渡しが2回に分けて実施され2回目の引渡しは期をまたぐ可能性はあったものの、契約書の実質判断から契約日に売買取引が実現しているとして、譲渡益は今年度に一括して計上することが妥当であるとの監査法人の意見に基づき、業績予想の修正を発表いたしました。

その後監査法人から、契約条項を再検討の結果、新しい「金融商品会計基準」に準拠し、今年度中に株式の引渡しが行われな限り分割して計上することが妥当であるとの新たな判断をいただいたことから、今年度については譲渡益の半分を計上し、残りは平成13年度に計上することとなりました。この結果、特別利益が622億円減少する予定です。

以 上